

小中学校 30人以下の学級に

公明、政府に要請 特別支援教育 改善も

公明党の富田茂之教育改
革推進本部長と浮島智子文
部科学部会長（ともに衆院
議員）らは9日、首相官邸
に加藤勝信官
房長官を訪
ね、小中学校
の1クラス30
人以下の少人



加藤官房長官（右から3人目）に
決議を提出する富田本部長（左か
ら3人目）と浮島部会長（同2人
目）ら=9日 首相官邸

数学級の推進を求める「決
議」を提出した。加藤官房
長官は「財務省、文部科学
省ともしっかりと話をしなが
ら進めていきたい」と心じ
た。

富田、浮島両氏は、I
CT（情報通信技術）の効
果的活用を含むきめ細かな
指導や心のケア、感染症対
策の充実に向けて「子ども
たち一人一人にしっかりと目
が届くようにしなければな
らない」と述べ、30人以下
の少人数学級の重要性を強
調した。

それを実現するため、決
議では「教職員定数の計画

的な改善」を進めるよう要
請。自治体が中長期的な見
通しを持って教職員や教室
を確保できるよう留意しな
がら「学級編成の標準を引
き下げ、所要の教職員定数
を確保するための財政措置
を2021年度予算におい

て講ずる」ことを求めた。
決議ではさらに、特別支
援教育にも言及。同教育を
受ける子どもたちの実態を
踏まえ「特別支援学級や通
級による指導の運営指針を
具体的に示すなど、必要な
改善策を講ずること」と訴

えた。
席上、富田、浮島両氏は、
加藤官房長官に対し、健康
児と自閉症児が分け隔てな
く共に学ぶ「混合教育」を
導入している私立武蔵野東
学園（東京都武蔵野市）な
ど先進例の視察を促した。